

海と暮らす尾道の人々...渡船の今昔

尾道水道を南北に行き交う渡船のある風景は、尾道風情を醸(かも)す尾道らしい風景・情景である。往時は12もの渡し(渡船航路)が尾道と向島東西を繋いでいたが、今日では3航路が健在するのみとなった。

“渡し(船)”を歴史的な目線で見ると、最古の渡しとなるのが、土堂渡し場と向島の兼吉を繋ぐ、通称・「兼吉渡し」(本渡しともいった。旧・公営渡船、現・尾道渡船)である。正確な開設時期は不明ながら、文献史料(横山吉原家文書・文化四年「覚」など)によると、寛政(かんせい)~文化期(1789~1817)頃が開かれたという、江戸後期に遡る古い渡船である。

島の割(わり)庄屋(じょうや)・高田恒次郎が、「手漕船一艘に船頭を附して、無賃で渡海往来せしめた」(「備後向嶋岩子島史」)のが初期段階であったようだ。

有料化後は綿や麦といった農産物を代価とする時期も見られ、賃料一文(いちもん)銭(せん)の時代には、「一文渡し」の通称で親しまれた。

手漕ぎ船から発動機船への移行は、大正11(1917)年からである。

文政8(1825)年4月開設と、兼吉同様に江戸時代まで遡るものとして、浄土寺下と向東の西谷間を往く渡船、通称・「浄土寺渡し」(ドック渡しとも称した。玉里渡船)があったが、しまなみ全通の平成11(1999)年4月、新尾道大橋開通に伴う尾道港内の渡船航路再編により、その長い歴史にピリオドを打った。同年には、向島町有井と新浜間を往来した「有井渡船」も姿を消した。

近代以降の開設で時代的に早いものは、山波と向東を結ぶ「桑田渡し」で、明治13(1880)年8月に営業許可が出されている。こちらも昨年廃航の時を迎え、これにより本土側と向東側を結ぶ渡船航路は完全に消滅した。

現存しないが、明治の中頃に開設された「烏(からす)崎(ざき)渡し」は、西御所から西富浜の「海物(かいぶつ)園」(塩田を営んだ天満屋富島家の茶園(さえん))跡付近への渡しであった。烏崎は海物園周辺の字(あざ)名(地名)に因る。利用客が少なく、昭和初期に廃航されるに至った。

この烏崎渡しを開いた福本光蔵によって開設されたのが、「福本渡船」である。土堂町、元・石崎棧橋(石崎汽船発着の棧橋)と東富浜白石間で、古くは白石南の小浦(四軒島北)へ通じていた為、「小浦渡し」とも、また「明神渡し」とも称された。

市役所西の薬師堂浜と向東の彦ノ上間の「岸元渡し」(彦ノ上渡し、後にしまなみフェリー)は、大正の中頃に始まった渡船で、向島における発動機船の最初であったという。既に廃航し、住吉浜の東側に棧橋のみを今に遺す。

現存航路は僅かなものとなったが、それでも尾道と向島を往来する人々の身近な渡し、日々の暮らしに欠かせない存在として、今日も尾道水道を往き来している。

尾道 向島(東西)間渡船一覧 (東から順に)

桑田渡し 山波町桑田 - 向東町肥浜 廃航
小肥浜渡し 向東町肥浜 - 尾崎(山波との境) 廃航
東渡し(ドック渡し、玉里渡船) 尾崎浄土寺下 - 向東町西谷 廃航
岸元渡し(彦ノ上渡し) 薬師堂浜(丸上棧橋) - 向東町彦ノ上 廃航
兼吉渡し(一文渡し、公営渡船、尾道渡船) 土堂渡し場 - 向島町兼吉
小浦渡し(明神渡し、福本渡船) 土堂 - 向島町白石
駅前渡船(向島運航) 尾道駅前 - 向島町富浜
烏(からす)崎(ざき)渡し(廿五番渡し) 向島町西富浜 - 西御所 廃航
有井渡し 向島町有井 - 西御所 廃航

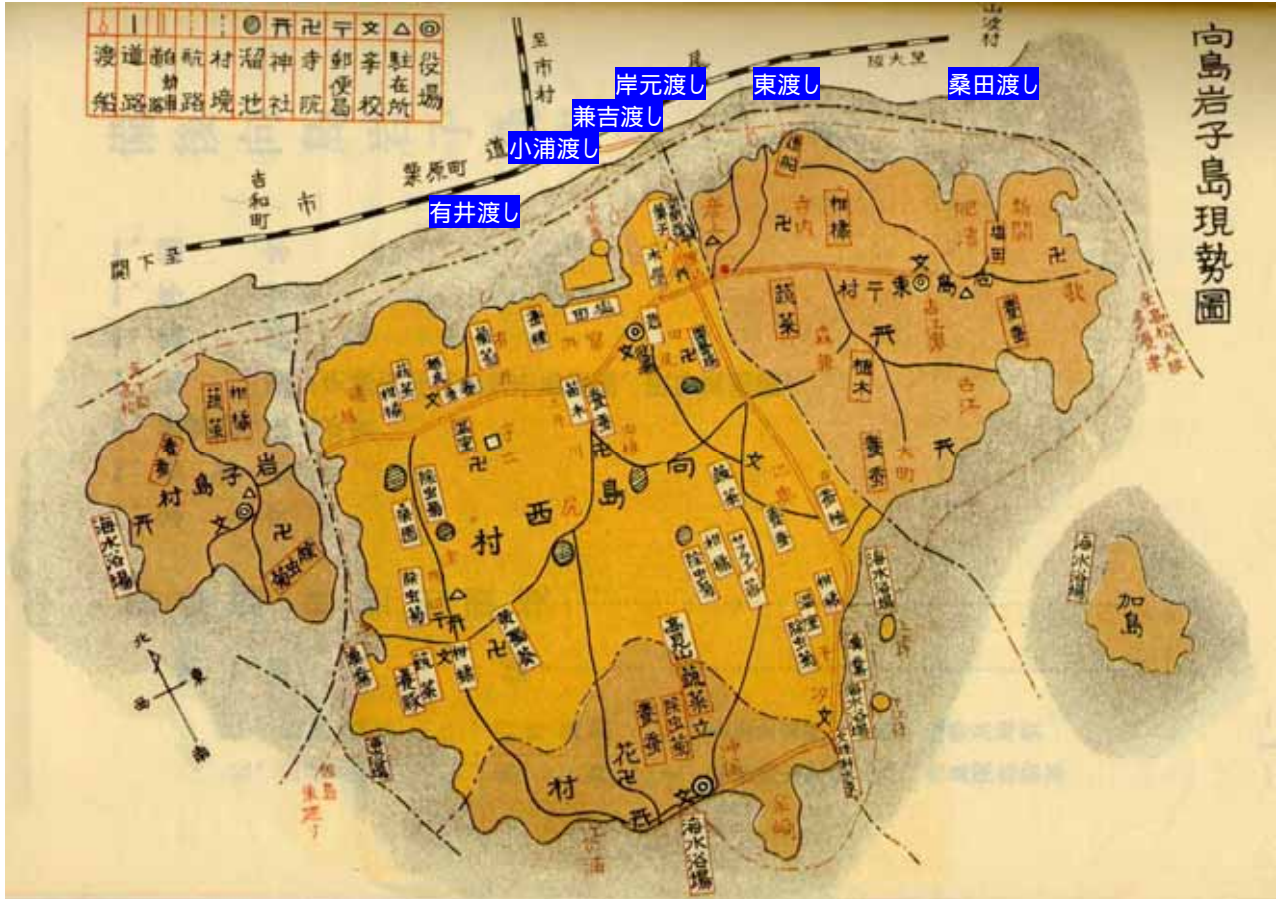
南北ルート以外の航路

歌渡し(歌戸運航) 向東歌 - 戸崎
津部田尾道間航路 津部田 - 岩子島 - 吉和 - 尾道(岩崎棧橋) 廃航
立花尾道間航路 立花 - 干汐 - 大町 - 尾道(向栄舎棧橋) 廃航

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... (渡船の今昔)」

尾道向島今昔航路図



昭和13年刊『備後向島岩子島史』(菅原守編著)より

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... (渡船の今昔)」



桑田渡し

山波町桑田 - 向東肥浜間 (廃航)



Photo by 浦谷典功撮影

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... (渡船の今昔)」



岸元渡し

薬師堂浜 - 向東町彦ノ上間 (廃航)



Photo by 浦谷典功撮影 モノクロ...昭和 40 年代 > 赤田洋茂撮影

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... (渡船の今昔)」



兼吉渡し

土堂渡し場 - 向島町兼吉間



第10向島丸



にゅうしまなみ



第11しまなみ



Photo by モノクロ...昭和 30 年代 > 土本寿美撮影 カラー > 浦谷典功撮影

第十向島丸...神原造船(向東町)で建造 / にゅうしまなみ...石田造船(因島三庄町)で建造

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 [海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... \(渡船の今昔\)」](#)



小 浦 渡 し

土堂海岸 - 向島町白石間

Photo by 浦谷典功撮影

第十一小浦丸、第十二小浦丸...福本造船(向島町)で建造

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... (渡船の今昔)」



Photo by 土本寿美撮影 (タイトル写真・第十向島丸2段目) & 浦谷典功撮影

第十向島丸、むかいしま、...神原造船(向東町)で建造

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 [海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... \(渡船の今昔\)」](#)



東 渡 し

尾崎町浄土寺下 - 向東町西谷間 (廃航)



有 井 渡 し

尾道西御所町 - 向島町有井間 (廃航)



歌 戸 渡 し

向東町歌 - 戸崎

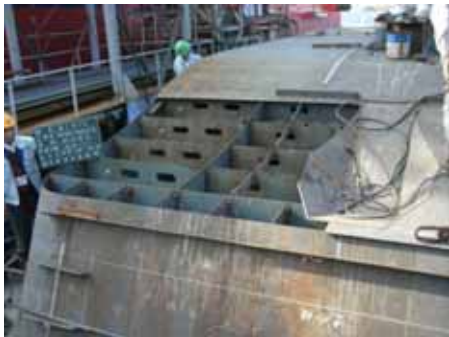
Photo by 浦谷典功撮影 & 土本寿美撮影 (東渡し2) & 赤田洋茂撮影 (有井渡し1)

[歌戸丸...神原造船\(向東町\)で建造](#)

尾道商工会議所記念館特別展示

海フェスタおのみち開催記念 海事都市尾道企画展「海と暮らす尾道の人々... (渡船の今昔)」

渡船「歌戸丸」ができるまで



船底に鉄板を溶接しブロックを造ります。



船首部分のブロックです。



各ブロックを溶接で繋ぎます。



客室部分のブロックを組み立てます。



操縦室の台を取り付けます。



ブロックの組み立て完了です。



エンジンを取り付けます。



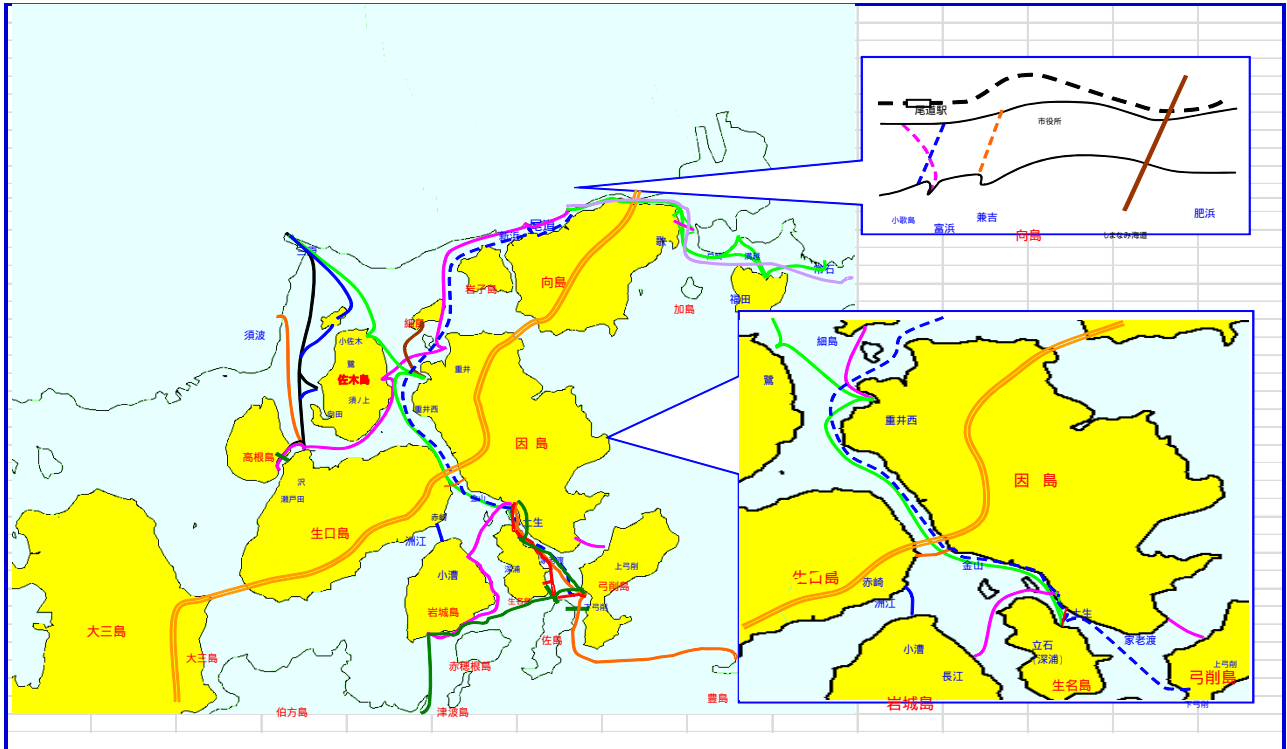
船体に塗料を塗ります。



船体が出来上がったら船を海に浮かべ、船主や関係者が集まって盛大な「進水式」を行います。
歌戸丸が完成するまで、約4カ月間を要しました。

写真：神原造船株式会社（尾道市向東町）提供

尾道広域航路図



尾道 - 因島・生口島(瀬戸田)間航路 (は平成 24 年 5 月末で廃航)

- 駅前棧橋～新浜～重井港～佐木島(須ノ上)～沢～瀬戸田 瀬戸内クルージング 客船
- 駅前棧橋～新浜～金山港～土生港～生名島(立石)～弓削 瀬戸内クルージング 客船

因島 - 周辺諸島間航路

- 土生中央～生名島(立石)～弓削～岩城島～今治 芸予汽船 客船
- 土生中央～弓削～豊島～高井神～魚島 愛媛県上島町 客船
- 土生中央～生名島(立石)～重井西～鷺～三原 土生商船 客船&フェリー
- 土生中央～長江～岩城 岩城汽船 客船
- 土生中央～長江 長江フェリー フェリー
- 土生中央～佐島～生名島～下弓削 弓削汽船 客船 フェリーは廃止。
- 土生・長崎棧橋～生名島(立石) 愛媛県上島町 フェリー
- 重井西～細島 尾道市 フェリー
- 家老渡～上弓削 家老渡フェリー フェリー

生口島 - 因島、生口島 - 三原区間航路

- 洲江～小漕 三光汽船 フェリー
- 赤崎～因島(金山) 三光汽船 フェリー
- 瀬戸田～沢～向田～(小佐木)～三原 ほうらい汽船/マルチ汽船 客船
- 沢～須波港 須波航路サービス フェリー

尾道 - 沼隈方面間航路

- 駅前棧橋～十四日元町～鞆 瀬戸内クルージング 客船&フェリー
- 駅前棧橋～戸崎～歌～道越～百島(福田)～常石 備後商船 客船&フェリー
- 向東歌～戸崎 歌戸運航 フェリー

尾道水道渡船航路

- 駅前渡船
- 福本渡船
- 尾道渡船